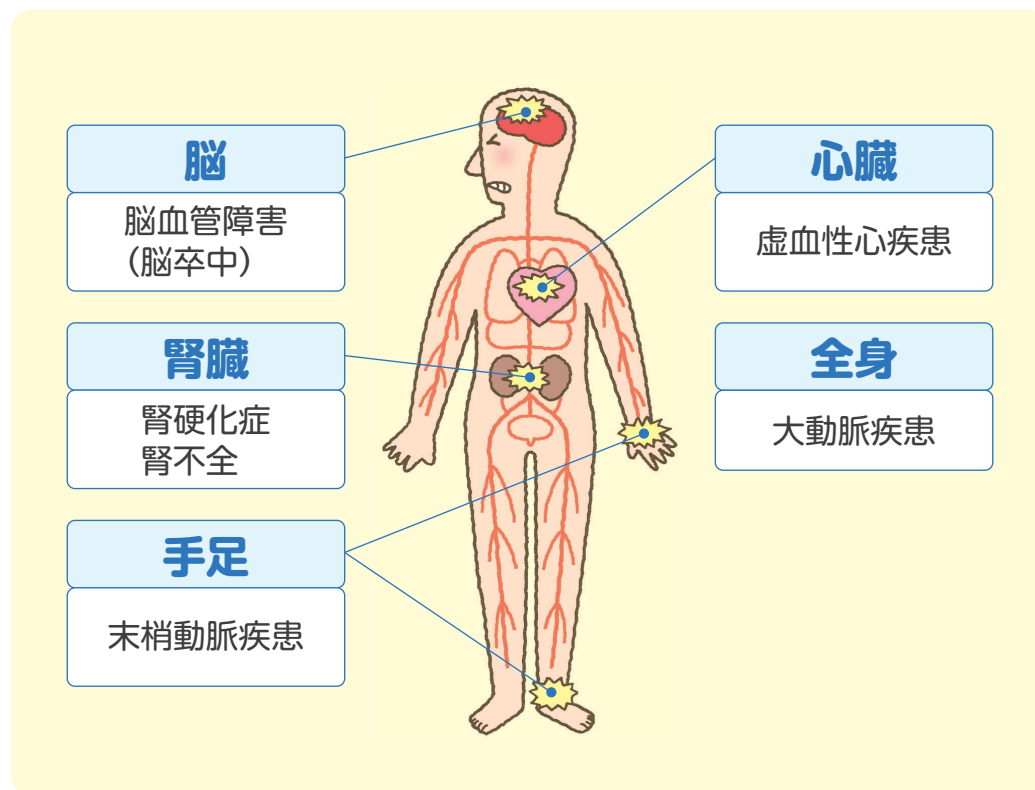


# 脂質異常症によるリスク

## 脂質異常症は動脈硬化の危険因子です

脂質異常症そのものには自覚症状はありませんが、そのままにしておくと血液が血管内でとどこおる動脈硬化を引き起こすことがあります。動脈硬化が進行すると、脳卒中や虚血性心疾患など、「動脈硬化疾患」とよばれるさまざまな病気が現れることがあります。



### トリグリセライド (中性脂肪) の増加にも注意しましょう

中性脂肪の増加は、肥満とともに血管を内側から傷つける原因となります。さらに、中性脂肪が非常に高い状態が続くと、急性膵炎を発症することが知られています。また、糖尿病の合併も起こしやすく、肝臓の細胞内に中性脂肪がたまる脂肪肝にもつながります。

### 小型LDLコレステロールとは?

古くなったLDLコレステロールは活性酸素に酸化されて小型になり、血管内皮にもぐりこんで蓄積し動脈硬化をすすめることとなります。そのため「超悪玉コレステロール」と呼ばれています。